

Do you feel uncomfortable with art?

美術教育シンポジウム

美術は 苦手?

Art Education Symposium

2026年 **11月1日[日]** 13:30~15:30 [13:00受付開始]

会 場：茨城県天心記念五浦美術館 講堂

定 員： **110名** ※事前申込優先、要企画展入場券(半券可)

主 催：天心記念五浦美術館 井手康人展地域連携実行委員会

共 催：一般財団法人 日本芸術教育財団



申込みはこちら

AIなどの急速な情報技術の進展の見られる現在、美術や音楽などの芸術、体育といった身体や感性を用いる分野の学びは、教育の現場でますます重要になってくるといわれています。一方で、子どものころお絵描きが大好きだったのに、いつの間にか美術が苦手になってしまった経験はありませんか？多くの人が経験するこの不思議さの背景を美術教育の専門家が語り合います。

登壇者



井手康人

作品作家、
愛知県立芸術大学教授

1962年福岡県生まれ。1990年、東京藝術大学大学院を修了。同年、院展初入選を果たす。以降、再興院展を舞台に発表を続ける。1995年から倉敷芸術科学大学、2015年からは愛知県立芸術大学で後進を指導。2008年以降は子供たちを対象にした日本画の出前授業を精力的に展開。2026年、日本芸術教育財団を設立、理事長となる。



藤原智也

愛知県立大学准教授

1984年岡山県生まれ。国公立中学校の美術教員を経て、2014年から現所属。2026年、日本芸術教育財団理事となる。主な受賞歴に、『美術教育学』賞奨励賞(2011)、教育美術佐武賞佳作賞(2012)、『美術教育学』賞(2015)。専門は、美術鑑賞方法、美術のカリキュラム開発、芸術に関わる教育・文化政策の分析。



金子一夫

茨城大学名誉教授

1950年茨城県生まれ。専門は近代日本美術教育史、美術鑑賞教育方法論。東京藝術大学大学院修了後、1978年から茨城大学で教鞭を執り、教授や特任教授を経て名誉教授、特命研究員を務める。主著に『近代日本美術教育の研究 明治時代』(中央公論美術出版、1992)、『美術科教育の方法論と歴史〔新訂増補〕』(中央公論美術出版、2003)など。



神野真吾

千葉大学大学院教授

1967年横浜市生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了(現代芸術論)。山梨県立美術館学芸員を11年務め、2006年より千葉大学。現在千葉大学大学院教育学研究院教授。アートの社会的価値についての理論的および実践的研究に取り組む。すみだ五彩の芸術祭エグゼクティブ・ディレクター、角川武蔵野ミュージアム ボードメンバーほか。

お問い合わせ 企画普及課
(0293-46-5311)

茨城県天心記念五浦美術館

TENSHIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI
〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083 [五浦美術館](#) [検索](#)